



鎌倉市本庁舎等整備

市民対話 ワークショップ

第4回 令和3年7月11日（日）9:30～12:30

まもなく開始します

まちづくり計画部市街地整備課

お知らせ

- ・ ワークショップ中は**マスクの着用**をお願いします。
- ・ 体調がすぐれない方は事務局までお申し出ください。
- ・ 広報・記録用にワークショップの様子を撮影（写真、動画）させていただきます。撮られると困るという方は目印となるバッチをお渡ししますので事務局までお知らせください。

本日の流れ

第1部：オリエンテーション 9:30～9:50 【20分】

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）
- これまでの振り返りと本日のワークショップの進め方について/15分（arg）

第2部：グループワーク 9:50～12:00 【130分】

1. グループリーダーを決めよう/5分
2. 自己紹介・アイスブレイク/10分
3. グループ対話・共創_テーマ1/50分
計画シートを基に、テーマ1のポスターのラフをつくってみよう
<休憩/10分>
4. グループ対話・共創_テーマ2/50分
計画シートを基に、テーマ2のポスターのラフをつくってみよう
<休憩/5分>

第3部：共有 12:00～12:30 【30分】

- 全体発表（ポスターの中間報告）：3分×5グループ/15分
- 本日のまとめと次回に向けて/10分（arg）
- おわりに/3分（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）
- 記念撮影 ※NGの方は除く

はじめに

これまでの振り返り

新たな本庁舎の整備

深沢地域整備事業用地(行政施設用地)の
利活用後のイメージ
(具体的な整備計画を現したものではありません。)

新たな本庁舎の整備におけるポイント

本庁舎づくりと鎌倉のまちづくり

鎌倉市全体の生活・文化・経済の向上につながる波及効果を生み出すべく、3つの拠点、鎌倉・大船・深沢の地域特性を生かし、都市機能の集積と市民生活の向上を図ります。



新たな本庁舎の整備におけるポイント



- **基本理念 (ビジョン)**

市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎

- **基本方針 (6つの要素)**

次ページ参照

- **導入を予定 (検討) している機能 (本庁舎機能以外)**

- ・ 地域図書館
- ・ 地域学習センター (集会室・ホール等)
- ・ 消防本部 (指令センター、消防署等)

- **周辺施設 (予定も含む)**

- ・ 湘南モノレール 湘南深沢駅
- ・ 公園・グラウンド・総合体育館 (予定)
- ・ 住宅・商業施設 (予定)

ビジョンと6つの要素

ビジョン

市民のニーズや社会情勢の変化に応えるコンパクトな本庁舎

- ・機能的で、社会情勢の変化に柔軟に対応できる
- ・質の高い行政サービスを提供する場

1 堅固な建物で 災害時に頼れる

- ・災害時に市民の生命を守る前線基地
- ・発災後に業務継続ができる堅固な建物

災害時には前線基地となる堅固な本庁舎と各地域の行政センターが連携する防災ネットワークを形成し、市全体の防災対応力を高めます。



2 最小限の機能を備え コンパクトで効率的

- ・利用者の利便性を重視
- ・効率的なスペース利用

未来を見据えた柔軟な空間設計を目指します。



※ 建設単価60万円/㎡で試算。今後変動する可能性があります。

3 鎌倉の自然や歴史を感じ、 市民のつながりを生かせる

- ・市固有の自然や歴史を感じられる空間
- ・市民同士がつながる市民活動ネットワークの形成



情報発創のスペースを確保し、市民のつながりを生かせる本庁舎を目指します。

4 人や民間資金を呼び込む

- ・ふらっと立ち寄りたくなる場所
- ・民間活力の導入などにより
財政負担を抑制



将来にわたって有効に活用できる本庁舎を目指します。

5 市民に寄り添った対応ができる

- ・学びや交流、子育て、起業支援など
多様なニーズに応える
- ・豊かな市民生活の実現につながる場



市民の多種多様なニーズに応えられる場や機能を持った本庁舎を目指します。

6 誰もが利用しやすい

- ・ユニバーサルデザインやバリアフリーの実現
- ・来庁者の多様性に配慮した窓口機能



来庁者の多様性に配慮した窓口を目指します。



鎌倉市役所現在地の利活用

現庁舎跡地

鎌倉市役所(現在地)の利活用後のイメージ
(具体的な整備計画を現したものではありません。)

鎌倉市役所（現在地）

～利活用の基本方針～

●市民サービスの提供・公共施設再編と民間機能の導入による賑わいや憩いの創出

鎌倉駅直近において様々な魅力を発信することで鎌倉のブランド力向上・新たなライフスタイルの提案・「住みたいまち鎌倉」の実現を目指す。

「鎌倉市公的不動産利活用推進方針」より

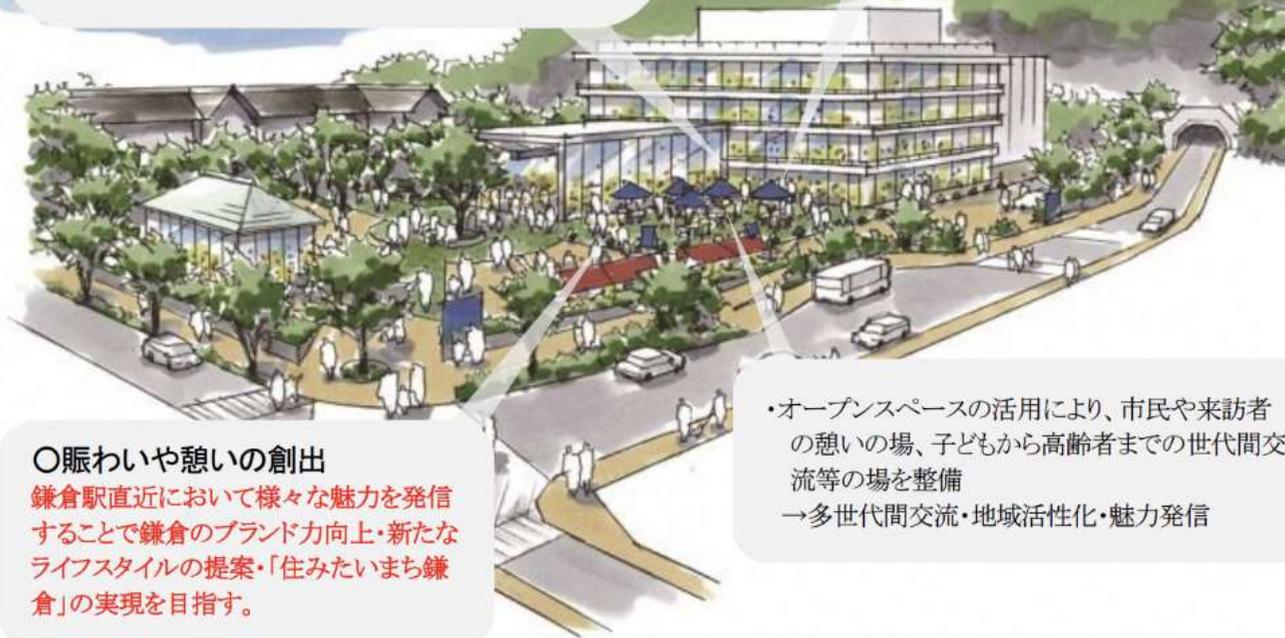
○市民サービスの提供※・公共施設再編

- ・市民サービス機能の維持と鎌倉地域における公共施設の再編による付加価値の創出
- ・市民の相談・手続きのための窓口をコンパクトに整備
→親しみやすく身近な市民サービス(窓口)
- ・ホール(生涯学習センター)、図書館、ミーティングスペースなど、市民の生涯学習、活動の拠点

※ 市民サービスや相談のための窓口を残す(主に現在の本庁舎の1階にある機能)とともに公共施設の再編と相まって、生涯学習、芸術文化、市民活動、多世代交流などの拠点化を目指します。

○民間機能の導入

- ・シェアオフィス、子育て施設などの導入による働く環境づくり
→既存の歴史的遺産・自然環境に恵まれたこのまちで、働き、暮らすという新たなライフスタイルの定着



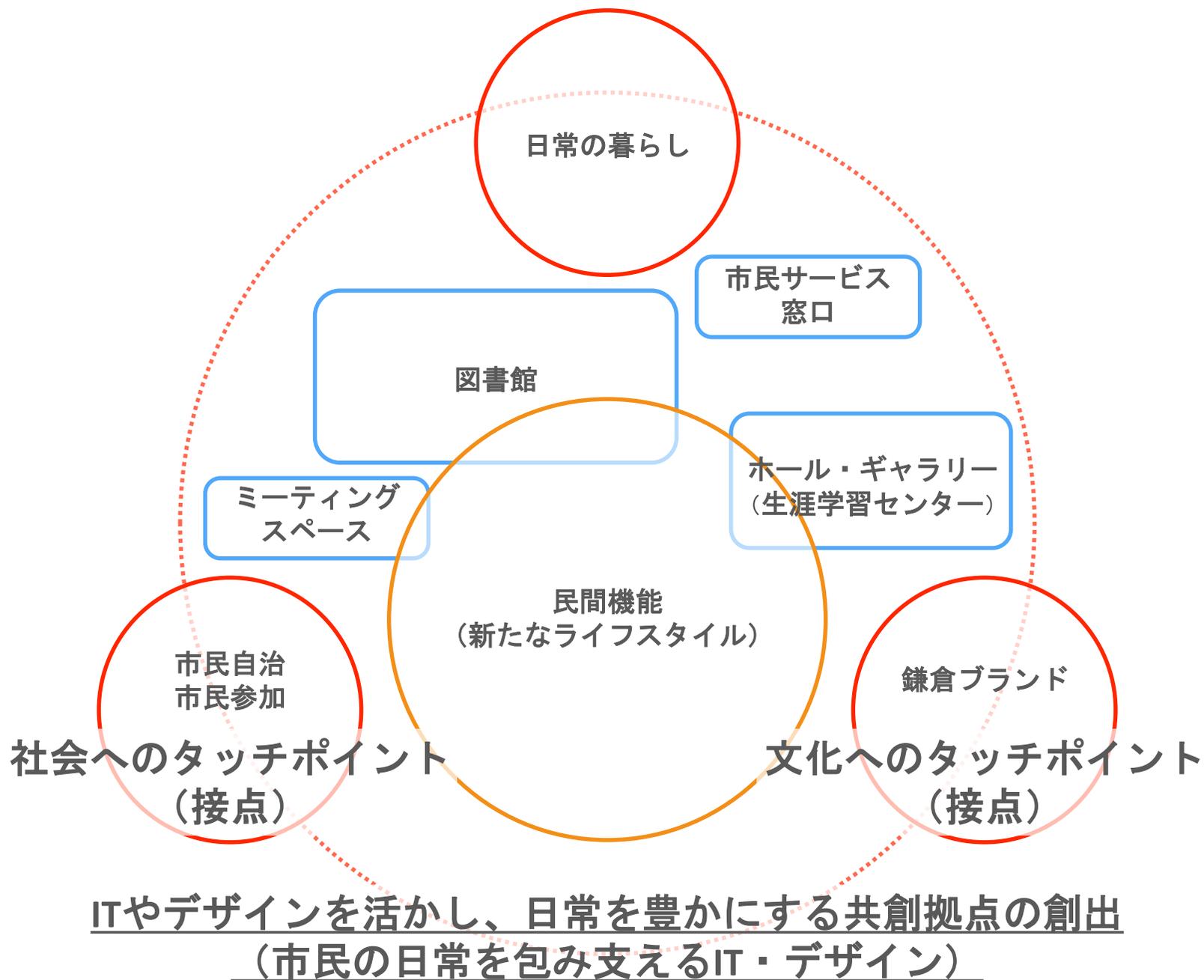
○賑わいや憩いの創出

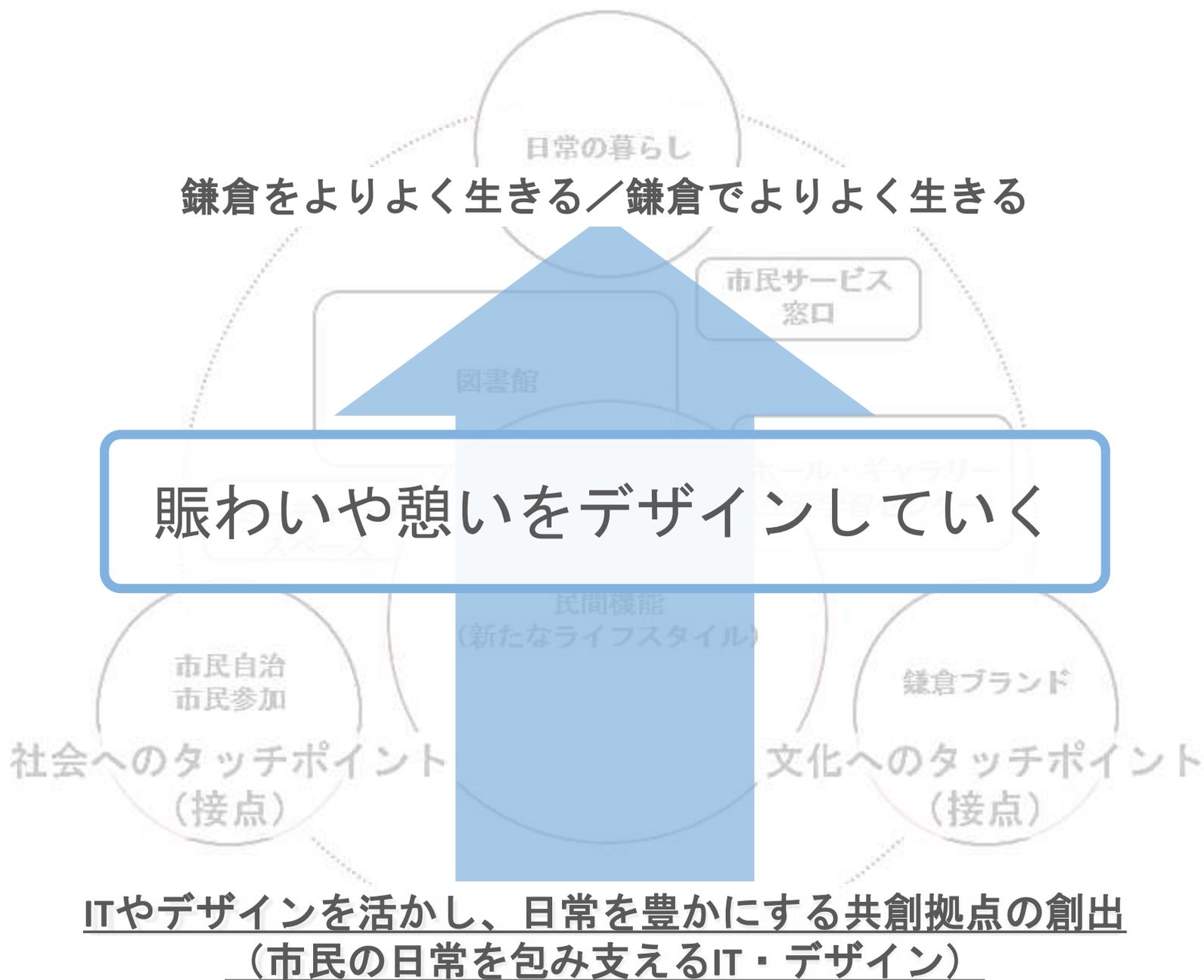
鎌倉駅直近において様々な魅力を発信することで鎌倉のブランド力向上・新たなライフスタイルの提案・「住みたいまち鎌倉」の実現を目指す。

- ・オープンスペースの活用により、市民や来訪者の憩いの場、子どもから高齢者までの世代間交流等の場を整備
→多世代間交流・地域活性化・魅力発信

図 利活用の効果のイメージ

※あくまでイメージ図であり、実際の整備計画を表したものではありません。





第1回レポート



鎌倉市本庁舎等整備 市民対話 ワークショップ 第1回

◆開催日：令和3年（2021年）3月20日（土）

◆開催形式：オンライン

◆参加人数：32名

◆概要：グループにわかれ、新たな本庁舎と、鎌倉市役所
現在地の2つのテーマに関して対話を実施しました



対話終了後のフォトセッションの様子



市民に寄り添う庁舎

- 市民活動をサポートするという役割
- まずは市民の命と暮らしを守るのが自治体の役割
- コロナでオンライン化が進めば、多くの人は市役所の本庁舎に出かける必要がなくなるのでは
- 役所には事務手続きでしか訪問しない。オンラインサービスの充実があれば便利で、ほぼ訪問する機会はなくなると思う
- デジタル化を推進しながらも、対応できない市民も安心して行政サービスを受けられることをサポートする役割
- 基本的には行政手続等はデジタル・オンラインで完結する方向を望んでいる。職員にとって満足度の高い職場環境を提供することで市民へのサービス向上にもつながる
- 職員の働きやすさと生産性の向上が市民に対するサービスの向上につながると思う
- 市民のコミュニケーションハブになる場所。カフェや広場、託児所などが併設されていて、手続きの用事がなくてもその場を訪れたい場所
- より「人でなければならぬ、対面の価値」を活かすような方向が望ましい
- 災害時にも頼りになる庁舎

- 防災面では、消防、警察、自衛隊他、人員や車両、ヘリコプターなどが集まれる拠点でもあってほしい

深沢地域とのつながり

- 様々な世代が集える地域となり、そこに市役所があるという存在であってほしい
- 深沢地区に本庁舎があるかどうかより、伴って整備されるであろう生活と直結する施設ができるかがポイント
- 公園みたいに緑豊かな空間

庁舎における交流

- 市民同士がつながるきっかけをつくる役割
- 市民の交流拠点となる庁舎。賑わいのある庁舎
- みんなが気軽に集まる場所があって欲しい
- イベントを通してみんなが繋がれる
- 市職員と市民、あるいは市長や議会と市民の交流が大切
- 学校との連携を行えると良いのではないかな。幅広い年代が交流できる場を設けられると良い
- 中学生や高校生、大学生などが力を発揮する場やイベントがあることで交流が広がる



鎌倉の暮らし

- 鎌倉駅周辺の市民がこれまでと変わらず、もしくはこれまで以上のサービスを受けられる場所
- 旧鎌倉の方々が不便にならないようにする
- 最低限必要の行政手続き・サービス等はキオスク端末^(※)などで対応。対面が必要な場合はコンシェルジュ的な方、あるいは専門家とのビデオ対話が可能^(※) 公共施設等に設置される情報端末
- 交流が重要な要素となっていく
- 仕事でも遊びでもふらりと行って一日過ごせる。交流の生まれる空間
- 気軽に立ち寄れ、そこで世代問わずに色々なことが体験でき、交流が生まれる場所であってほしい
- いろいろな世代の人達、市外から来る人達と市民との交流の空間
- いまは気軽に休めるような場所がなく、気軽に立ち寄って、そこで新たな目的が見つけれられるような仕掛けがあると良い
- 散歩しに行きたくなるような場所（気軽に立ち寄れる楽しい空間）
- いろいろな世代の市民が自由に過ごせるスペースであってほしい
- 市のいわゆる一等地なので、市民が繋がれて、かつ地域で経済も回るような場所
- 広い敷地を活かしたイベントスペース

- 鎌倉駅を境に観光客が少ないため、地域の方のために特化した設備があると嬉しい。例えば図書館の拡充など
- 鎌倉に住んでいる人が楽しめる場所であることで、観光の人も居心地のいい場所となる

鎌倉の仕事と学び

- ミーティングなどの集まれる場所が少ないのでみんなが使えるスペースとして再生して欲しい
- みんなの学び合いの様子が、どんなことをしてるのかが見えたり感じられるような、生涯学習が行われているとよい
- 鎌倉市内には子どもが集う場所がない。将来を担う世代が、学校以外の場所で出会い、交流できる場が必要
- 子育ての支援ができるような場を作って、子供を育てながらでも働きやすいまちづくり
- 図書館の充実

鎌倉の歴史・文化とブランド

- 子どもたちや新しく移住してきた人たちが鎌倉の歴史と文化を知れる場所
- 鎌倉の市民・歴史との繋がりを感じられる場所であってほしい
- 鎌倉の多様な自然、文化、芸術などを知り、いろいろな地域に足を延ばしたくなるような情報拠点化
- 鎌倉の歴史・文化とブランドの象徴であってほしい
- 「道の駅」的なポジション

第2回レポート



鎌倉市本庁舎等整備 市民対話 ワークショップ 第2回

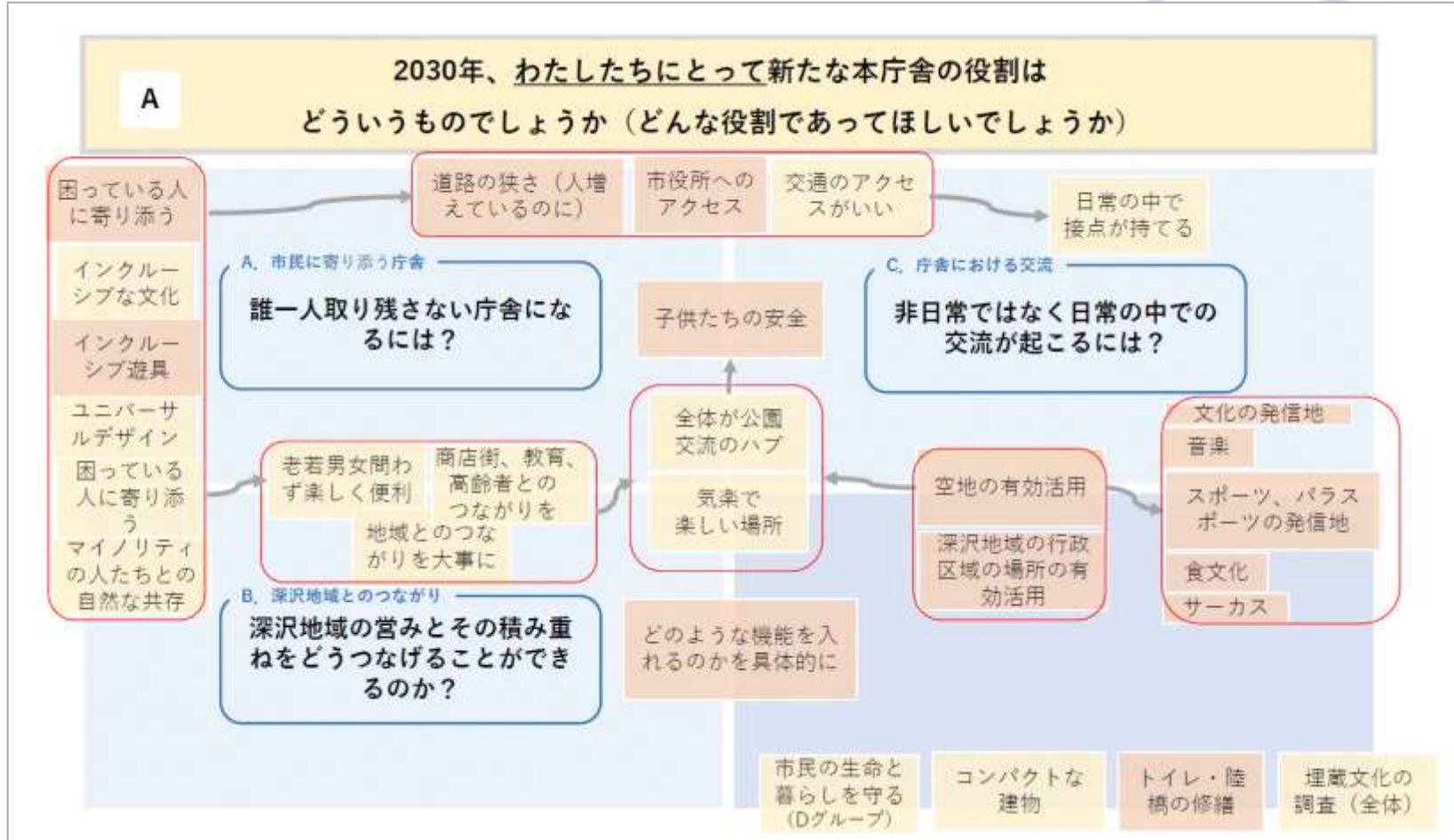
- ◆開催日：令和3年（2021年）4月17日（土）
- ◆開催形式：オンライン
- ◆参加人数：31名
- ◆概要：前回グループで対話を行った「新たな本庁舎」と「鎌倉市役所現在地」の2つのテーマに対して“わたしたちにとって”という視点で対話を深めました。



対話終了後のフォトセッションの様子



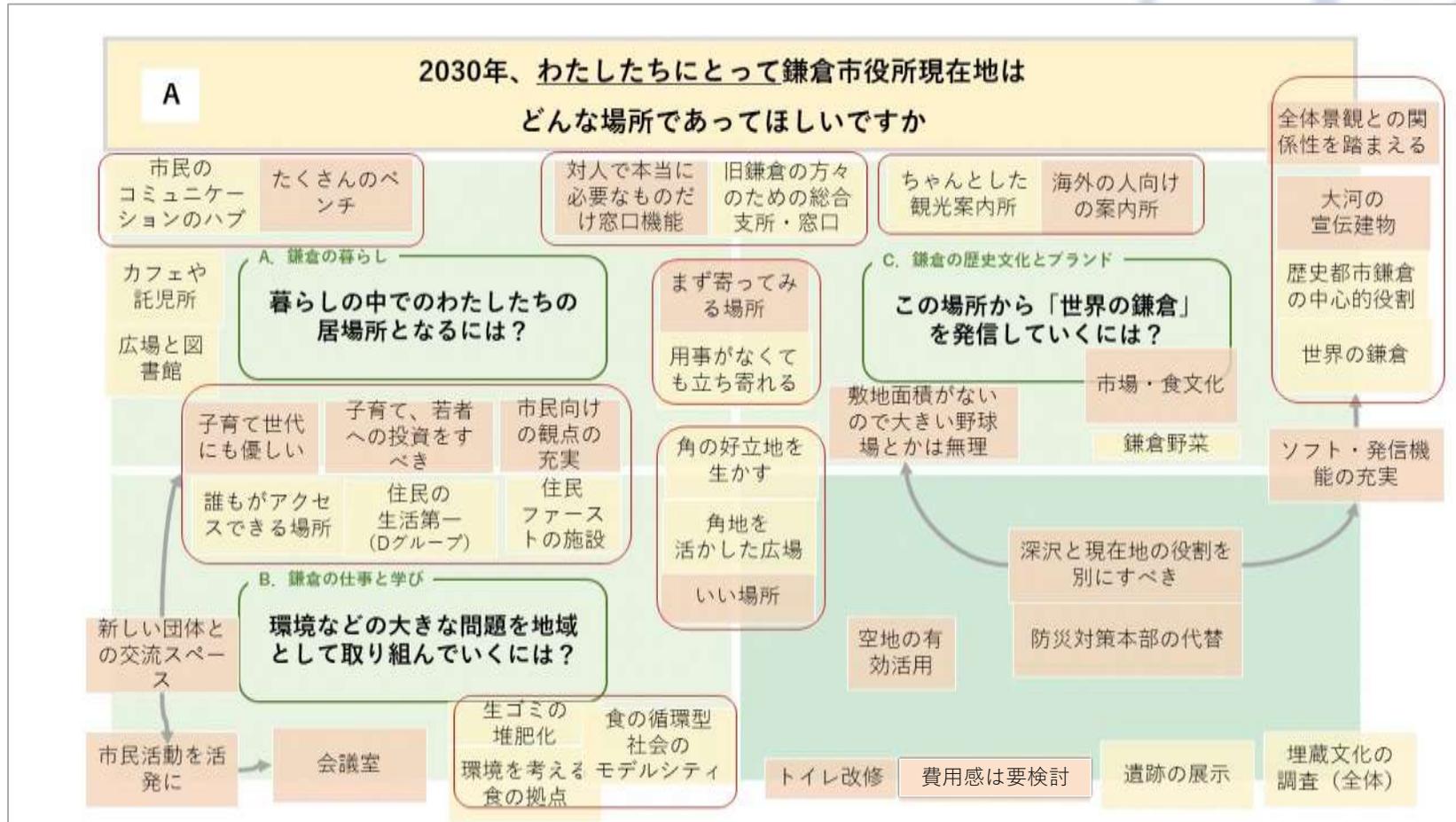
Aグループ



新たな本庁舎の役割として、「困っている人に寄り添う」「ユニバーサルデザイン」「マイノリティの人達との自然な共存」など利用者の多様性に配慮した「インクルーシブ」な場所とすることが重要であるというキーワードが挙がりました。また、深沢地域と鎌倉市役所所在地の違いを理解した上で、深沢地域では「行政区域の場所の有効活用」を図り「音楽」や「スポーツ」など「文化の発信地」となることが期待されていました。



Aグループ



鎌倉市役所所在地は、鎌倉駅直近かつ角地という「好立地」を活かし、「広場と図書館」「カフェや託児所」「市民向けの」施設など「まず寄ってみる」「用事がなくても立ち寄れる」場所となると良いのではといった視点や、市民活動が盛んな地域であることを踏まえ、「新しい団体との交流」や「市民活動を活発に」行えるスペースが必要なのではないかという視点で対話を行いました。また、鎌倉の歴史・文化について発信できる機能・ソフトの充実が必要なのではという視点でも対話を行いました。

第3回レポート



鎌倉市本庁舎等整備 市民対話 ワークショップ 第3回

- ◆開催日：令和3年（2021年）5月16日（日）
- ◆開催形式：オンライン
- ◆参加人数：22名
- ◆概要：これまで行ってきた対話の内容を伝えるためのポスターづくりに向けて、どんな人に、何を、なぜ、どこで伝えたいかについてグループで話し合いました。



対話終了後のフォトセッションの様子

グループ

どんな人たちに
伝えたい

何を伝えたい

なぜ伝えたい

どこで伝えたい

A	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市の<u>それぞれの地域</u>の人 	<ul style="list-style-type: none"> 深沢地域と鎌倉市役所所在地の違い・あり方の方向性 <u>インクルーシブな鎌倉（多様性）</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 市の<u>やりたいことを伝えてもらった上で、合議を進めて欲しい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉駅のロータリー等の誰でも目がつくところ
B	<ul style="list-style-type: none"> <u>市長・市職員</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 今ある最低限の機能+<u>デジタル化の推進</u>（デジタル・リアルが上手く融合し苦手な人も安心できる） 	<ul style="list-style-type: none"> 何が変わるのか、変わることによって<u>生活がどう変化し、どう楽しくなるか</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 職員に対しては市役所内、市民に対しては回覧版やお店
C	<ul style="list-style-type: none"> すべての人、特に<u>若い世代、子育て世代</u> 	<ul style="list-style-type: none"> <u>つながる、つなげる</u>というテーマ（人と人、新と旧、世代間、地域間、鎌倉内と外、鎌倉と世界） 	<ul style="list-style-type: none"> 多くの市民に<u>関心を持ってもらいたい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 市役所、公共施設、学校、駅、広報、WEB・SNS
E	<ul style="list-style-type: none"> 鎌倉市民（鎌倉市をよく知らない、好きじゃない人も含めて） 	<ul style="list-style-type: none"> <u>多世代の交流・コミュニティの場</u> みんなで創っていく場、市民のコミュニティに職員が入っていくような双方向の形も実現していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解を深めて欲しい。 <u>地域の人を知ることで地域力を上げたい。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 何気なく市民が通り過ぎる場所 YouTubeなど
F	<ul style="list-style-type: none"> 中学生、高校生、大学生（学生の「<u>鎌倉好き</u>」の想いを実行力につなげる） 	<ul style="list-style-type: none"> <u>「集まれる」ことの大切さ</u> おしゃべりしたり、体を動かして遊んだりする場所が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 「集まれる」ことにより<u>交流やつながりが生まれる</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 学校の掲示板 鎌倉市のSNS

グループ	どんな人たちに伝えたい	何を伝えたい	なぜ伝えたい	どこで伝えたい
A	<ul style="list-style-type: none"> ・市民17万人 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>深沢地域に移転する理由</u> ・<u>ビジョンを示し合意が得られてきたらワクワクするテーマを</u> ・<u>素敵な図書館が欲しい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>分かりやすく示してほしい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容によって伝える場所も決まってくる
B	<ul style="list-style-type: none"> ・行政 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>子育て世代・子ども・若者を支える場所</u>であって欲しい ・<u>若い子（中高生）が参加できる、やりたいことを実現できる場</u>が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>子どものための場所が少ない</u> ・<u>鎌倉らしさを大事にしたい</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員に対しては市役所内 ・市民に対しては回覧版や電車、駅
E	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の皆さん（何がしたいかを市民自身で考える） 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>鎌倉を知るハブ機能</u>であって欲しい ・古い鎌倉・新しい鎌倉どちらも意識 ・災害時にも役立つ 	<ul style="list-style-type: none"> ・古い鎌倉・新しい鎌倉どちらも伝えたい ・<u>歴史を大切にしつつ、未来に進んでいく新しい鎌倉を</u>伝えたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・WEBメディア（youtube、SNS） ・動画で効果的に伝える
F	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいても<u>イベントなどの情報を知る機会が少ない人</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>図書館や歴史を感じられる場所</u>ができ、そこに気軽に立ち寄れるようになって欲しい ・<u>発表の機会や、交流が生まれる場所</u>にしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉の情報を知る機会が少ないので、<u>住民にとっての「情報センター」のような場所</u>が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・Youtube ・ポスターなどの紙媒体

〈共創〉 ワークショップ プログラムについて

「周知・意見聴取」といった1方向のコミュニケーションから **〈共創〉ネットワーク型の市民参画**へ



〈共創〉に取り組んできた鎌倉市だからこそできる地域を **「共につくる」ワークショップ**の実践

※共創とは：ともに考え、ともに創ること

1. 協働・参加型のデザイン

鎌倉市民や鎌倉市に関係する人びとの協働・参画によって、鎌倉市の日常を支える公共施設、公共空間のあり方を行政と市民と事業者が一体となって検討できる場を育てていきます

2. わたしたちごと化

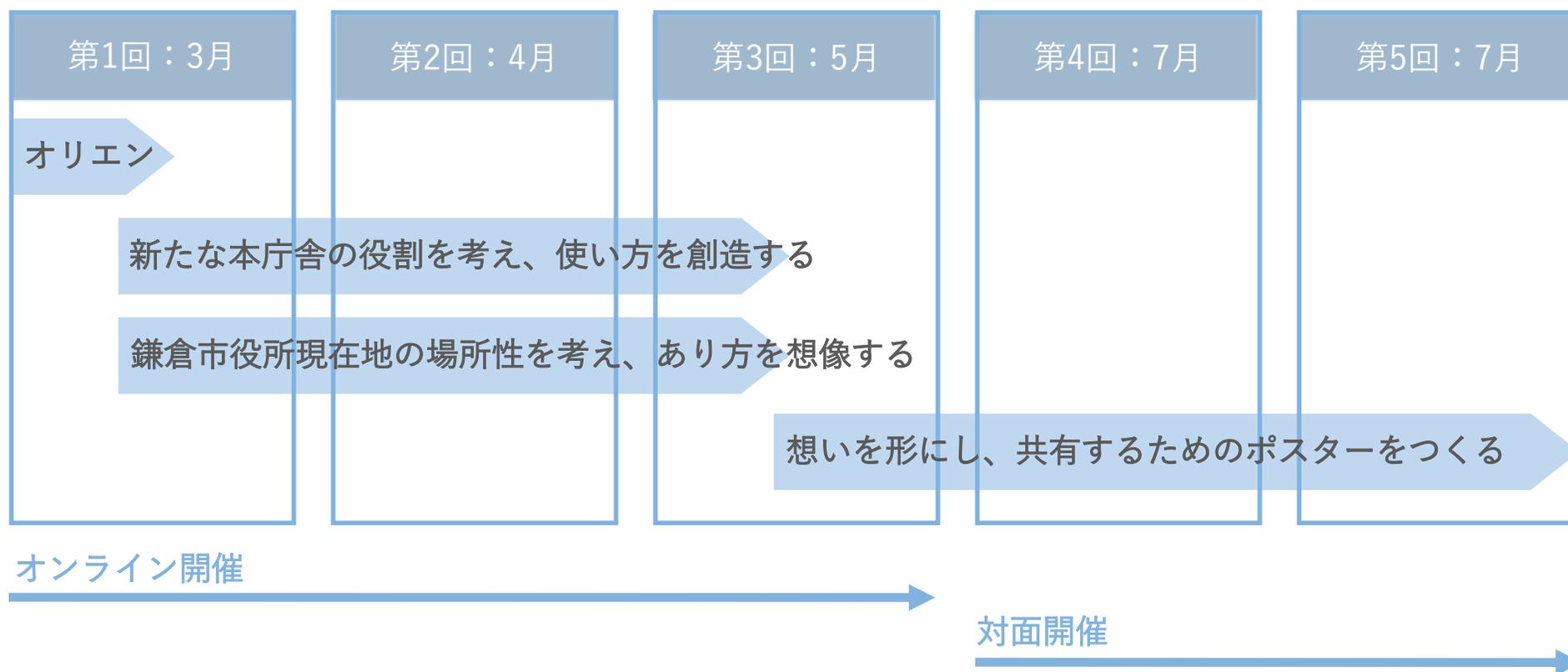
鎌倉市民や鎌倉市に関係する人びとが主体的に関わり、自分たちのまち、自分たちの地域の公共施設や公共空間をどのようにつくり、運営し、利用していくのかについて、まずは「わたしごと（自分ごと）」として考え、そこからさらに「わたしたちごと」として捉えていきます

3. 地域の可能性と課題を再発見する

市民協働によって、ウィズコロナ・ポストコロナ
といった新しい時代における、鎌倉市の日常、
鎌倉市らしさを見つめ直し、**鎌倉市の可能性と
課題を再発見**します

- ▶ 1回の発言は1分までにしよう
- ▶ お互いの話を聴こう
- ▶ お互いの発言に対する否定・遮りはしない
- ▶ ともに考え、ともに手を動かし、ともにつくろう
- ▶ 答えを出さなくても大丈夫、問いを発見しよう

■市民対話ワークショップ：全5回の流れ



市民が持続的にプロセスに参加することができる機会を創出し、こうした市民の参加を、実践としての「共創」へとつないでいく

〈共創〉 ワークショップの目標

ポスターをつくります！

ポスターをつくります！



何のポスターを？

第1回、第2回で取り組んだ2つのテーマ

〈対話・共創 テーマ1〉

2030年、

わたしたちにとって新たな本庁舎の役割は
どういものでしょうか
(どんな役割であってほしいでしょうか)

〈対話・共創 テーマ2〉

2030年、

わたしたちにとって鎌倉市役所所在地は
どんな場所であってほしいですか

第1回、第2回で取り組んだ2つのテーマ

〈対話・共創 テーマ1〉

2030年、

わたしたちにとって新たな本庁舎の役割は
どういものでしょうか
(どんな役割であってほしいでしょうか)

〈対話・共創 テーマ2〉

2030年、

わたしたちにとって鎌倉市役所所在地は
どんな場所であってほしいですか

それぞれのテーマで考え、対話した中で
最も大切にしたいことを、
ポスターにしてみんなに伝えましょう！

なぜ、ポスターをつくるのでしょうか？



想いを伝える、共有する
とともに考え、つくる仲間を増やす



ポスター=ヴィジュアル×言葉
伝えやすい、共有しやすいメディア

■市民対話ワークショップ：目標

私たちは、こんな幸せな仕事を、100年も続けてこれました。ありがとうございます。



私たちが、今日も1千万個の「おいしい」と「健康」にかかわる商品をお届けしています。
 私たちは、今日もたくさんの「すこやかな生活」をささえる商品をお届けしています。
 私たちは、今日も「赤ちゃん」から「お年寄り」までという、人生に沿った商品をお届けしています。
 私たちは、こんな幸せな仕事を、100年も続けてこれました。ありがとうございます。 森永乳業

100周年を記念し皆様といっしょにギネス世界記録®「最大のデザートコレクションセッション」にチャレンジすることを計画中です。2018年3月実施予定。詳しい情報は今後ホームページなどで発信していきます。

※画像引用：ブレーション-感謝の気持ちを伝える100周年広告
<https://mag.sendenkaigi.com/brain/201712/up-to-works/012062.php?>
 (最終閲覧日：2021年5月6日)

大抵解体、起ころうる。
 おれしは、その言葉も付比事か。
 とさそ可解体んて起ころるか。
 それでも人々共解体れ起ころる。
 小さな家でも人々の手には起ころる。
 解るも遠く突進や文字解体して解る。
 今とそ自分も起ころる。
 しめし、そんな解体は起ころる。
 解るも解るの言葉は起ころる。
 おれしは起ころる、起ころる。
 起ころる、起ころる。

さ、ひっくり返そう。

わたしは、私、



SEIBU 西武 SOGO

※画像引用：PR TIMES - 【そごう・西武】幕内最小の力士「炎鵬」を広告モデルに起用
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000497_000031382.html
 (最終閲覧日：2021年5月6日)

■市民対話ワークショップ：目標



※画像引用：福地町立図書館・歴史資料館 ふくちのちができるまで
<https://mag.sendenkaigi.com/brain/201712/up-to-works/012062.php?>
 (最終閲覧日：2021年5月6日)

なぜ、ポスターをつくるのでしょうか？



想いを伝える、プロセスを共有する
とともに考え、つくる仲間を増やす



ポスター=ヴィジュアル×言葉
伝えやすい、共有しやすいメディア

みんなで作るポスターをつくり、
ポスターを通じて想いを共有する



みんなが持続的に参加できる
〈共創〉のプロジェクトへ

グループリーダーを決めよう

グループリーダー

II

ポスター制作の監督
(進行管理)

自己紹介・アイスブレイク

自己紹介とあわせて
鎌倉を色とオノマトペ
(擬音語・擬態語)で
表してみてください

本日のグループワーク

第1部：オリエンテーション 9:30～9:50 【20分】

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）
- これまでの振り返りと本日のワークショップの進め方について/15分（arg）

第2部：グループワーク 9:50～12:00 【130分】

1. グループリーダーを決めよう/5分
2. 自己紹介・アイスブレイク/10分
3. グループ対話・共創_テーマ1/50分
計画シートを基に、テーマ1のポスターのラフをつくってみよう
＜休憩/10分＞
4. グループ対話・共創_テーマ2/50分
計画シートを基に、テーマ2のポスターのラフをつくってみよう
＜休憩/5分＞

第3部：共有 12:00～12:30 【30分】

- 全体発表（ポスターの中間報告）：3分×5グループ/15分
- 本日のまとめと次回に向けて/10分（arg）
- おわりに/3分（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）
- 記念撮影 ※NGの方は除く

■市民対話ワークショップ：本日のグループワークの進め方

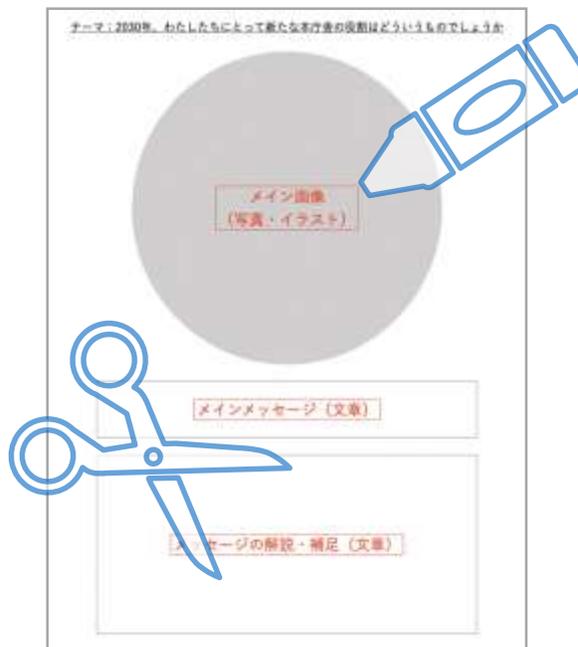
1

ポスター計画シートを基に
ポスターの内容について
考え、対話する

<p>a) どんな人たちに伝えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前提として対象はすべての人 ・特に若い世代へ ・世代に合わせて手法を選択していく ・すべての人が対象だが、広めるためには若い世代への訴求が重要（取組みもいろいろでは） ・子育て世代に向けてのことで活性化される ・ウェブを活用して若い世代に向けて伝える 	<p>b) 何を伝えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つながる、つなげるというテーマ（人與人、世代間、地域間、鎌倉内と外、鎌倉と世界、昔と今、など様々なつながり） ・つながる、つなげるとともに本庁舎（市役所）が何ができるのか ・対話を促進するようなポスター「みんなで本庁舎（市役所）について考え対話しましょう！」
<p>c) なぜ伝えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民に関心を持ってもらいたい（まだ十分に市民に認識されていない） ・鎌倉市のこれからを心配している 	<p>d) どこで伝えたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所、図書館、子育て支援施設等の公共施設 ・学校、子どもが集まる施設 ・駅、まちなか ・広報がまくら、タウンニュース等の地域紙 ・近E、近G、近Tを効果的に活用 <p>日常の中で触れることができるように！</p>

2

描いたり、切ったり貼ったり、
実際に手を動かしてみる
（得意なことを生かそう）



3

ポスターのラフをつくる
（時間があれば2案、3案
とつくってみよう）



a) どんな人たちに伝えたい

- 鎌倉に誇りを持つみなさん
- 鎌倉で生まれ育った中高生
- 鎌倉へ移住してきたみなさん
- 市役所で働くみなさん
等...

みんなで考えてみよう

b) 何を伝えたい

c) なぜ伝えたい

- 関心を持ってほしい
- 共創に参加してほしい
- コミュニケーションしたい
- 想いを実現したい
等...

d) どこで伝えたい

- 市役所、図書館等の
公共施設
- 学校
- 駅
- まちなか
- ウェブ
等...

a) どんな人たちに伝えたい

- 前提として対象は**すべての人**
- 特に**若い世代**へ
- 世代に合わせて手法を選択していく
- すべての人が対象だが、広めるためには若い世代への訴求が重要（攻めてもいいのでは）
- 子育て世代**に向けてことで活性化される
- ウェブを活用して若い世代に向けて伝える

b) 何を伝えたい

- つながる、つなげる**というテーマ
(人與人、世代間、地域間、鎌倉内と外、鎌倉と世界、新と旧、など様々なつながり)
- つながる、つなげるために**本庁舎（市役所）が何ができるのか**
- 対話を促進**するようなポスター「みんなで本庁舎（市役所）について考え対話しましょう！」

- 多くの市民に関心を持ってもらいたい**
(まだ十分に市民に認識されていない)
- 鎌倉市のこれからを心配している

- 市役所、図書館、子育て支援施設**等の公共施設
- 学校、子どもが集まる施設**
- 駅、まちなか
- 広報かまくら、タウンニュース等の紙媒体
- WEB、SNS→ネットを効果的に活用

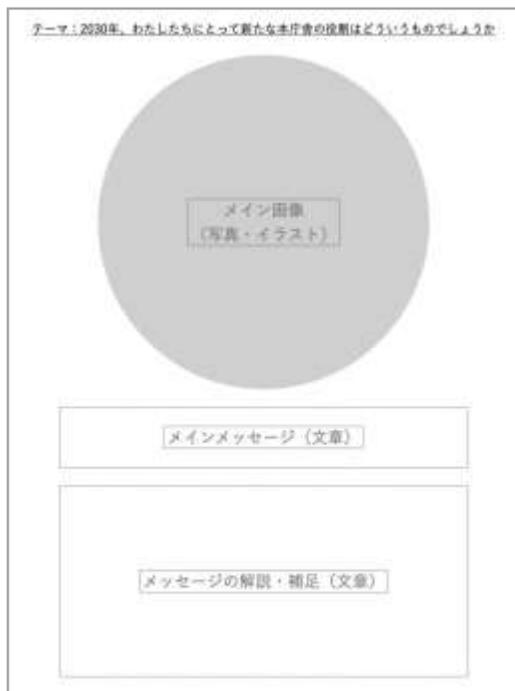
日常の中で触れることができるように！

c) なぜ伝えたい

d) どこで伝えたい

■市民対話ワークショップ：ポスターをつくるためのフォーマット、素材

パターン1



パターン2



パターン3

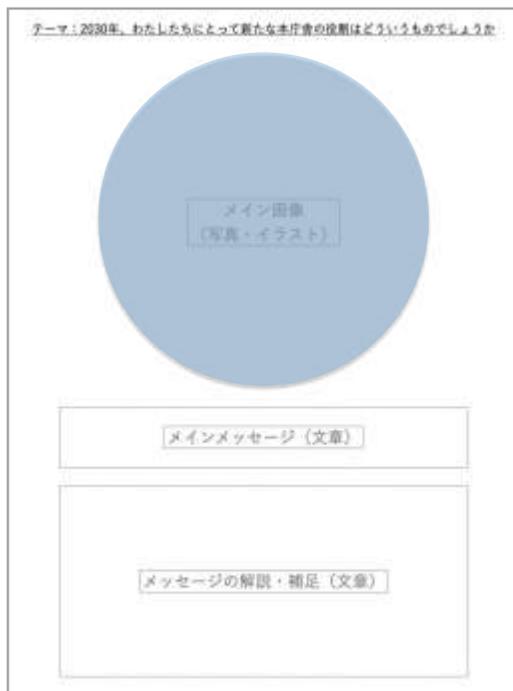


パターン4

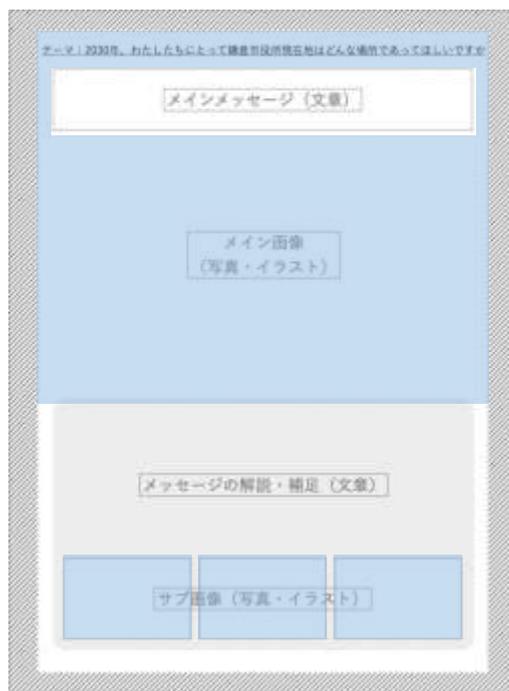


■市民対話ワークショップ：写真の利用について

パターン1



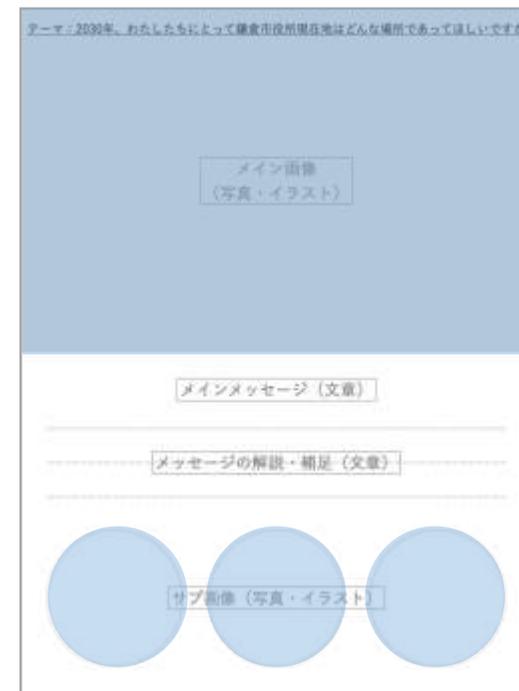
パターン2



パターン3



パターン4



写真が入ります (レイアウトは自由)
※自身で撮ったものに限る

第1部：オリエンテーション 9:30～9:50 【20分】

進行あいさつ・本日の流れ

- はじめに/5分（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）
- これまでの振り返りと本日のワークショップの進め方について/15分（arg）

第2部：グループワーク 9:50～12:00 【130分】

1. グループリーダーを決めよう/5分
2. 自己紹介・アイスブレイク/10分
3. グループ対話・共創_テーマ1/50分
計画シートを基に、テーマ1のポスターのラフをつくってみよう
＜休憩/10分＞
4. グループ対話・共創_テーマ2/50分
計画シートを基に、テーマ2のポスターのラフをつくってみよう
＜休憩/5分＞

第3部：共有 12:00～12:30 【30分】

- 全体発表（ポスターの中間報告）：3分×5グループ/15分
- 本日のまとめと次回に向けて/10分（arg）
- おわりに/3分（鎌倉市まちづくり計画部市街地整備課）
- 記念撮影 ※NGの方は除く

ポスターに使いたい写真を
印刷して持ってきてください

- 自身で撮った写真に限ります
- 前に撮ったものも、新たに撮ったものもOK
- 肖像権（プライバシー権）に注意すること



鎌倉市本庁舎等整備

市民対話 ワークショップ

第5回 令和3年7月31日(土) 9:30~12:30

鎌倉市深沢学習センターホール

(新型コロナウイルス感染状況等により変更となる場合があります)

まちづくり計画部市街地整備課